

「安全」「効率」「快適」を現場に

一人ひとりのお客さまにとって「なくてはならない存在」に。
作業環境創造企業として
課題解決のパートナーを目指します。

株式会社 **アイチ** コーポレーション

●アイチコーポレーション オフィシャルホームページ
<https://www.aichi-corp.co.jp>



※カタログ中の写真、イラストは実際の仕様と異なる場合があります
また、記載の仕様は予告なく変更する事がありますのでご了承ください

※機械化車両は完成車の品質を検査するために作動テストを行います。そのため、ご納車時にアワメータの数値が増えている場合があります
※完成車をお届けするにあたり、自走する場合があります。そのため、ご納車時に走行距離の数値が増えている場合があります



BRIDGEMASTER

ブリッジマスター



SF77B1FR SF77A-IV

	SF77B1FR	SF77A-IV
Platform Height	7.19 m	7.44 m
Horizontal Outreach	R5.88 m	R5.73 m
Platform Capacity	200 kg	200 kg
Platform Insertion	7.52 m	7.54 m
Platform Downreach	-5.94 m	-7.62 m



「走行時は、より走行しやすく」 「作業時は、より作業しやすく」 その両方を追求した橋梁点検車です

より高く、深く、奥へ、そして走行時にはコンパクトに。これらの要望に応えるために独創的なメカニズムが生まれました。ブーム・ポスト・プラットフォームを全て水平に格納。他の追随を許さない低い走行姿勢を実現しながら、作業においては高いオーバーフェンス能力・深い潜り込み能力・長い差し込み能力を発揮します。橋梁の側面、下面に広大な作業領域を展開することで、大幅な効率向上に貢献します。ブリッジマスターがこれからの橋梁点検作業をしっかりと支えていきます。

POINT 01

歩廊式プラットフォーム

作業対象までの移動は歩いて迅速に！煩わしい操作を最小限にすることで作業効率の向上に貢献します。

POINT 02

プラットフォーム180°首振りにより、広い作業範囲を確保

一回の車両設置で、出来るだけ広い範囲の作業を可能にするための機構です。接触事故の原因となりやすいブーム操作による接近を減らすことで安全性向上に貢献します。

POINT 03

車両の左右両側からアプローチ可能

片側2車線道路でも逆方向駐車することなく作業が可能です。車両のUターンなどの煩わしさを解消します。

POINT 04

機動性・安全性に優れたコンパクトボディ

独自の格納姿勢によりクラスの低車高を実現。現場への移動における機動性に加え、道路上の構造物との接触事故防止にも役立ちます。



Originality of The Mechanism

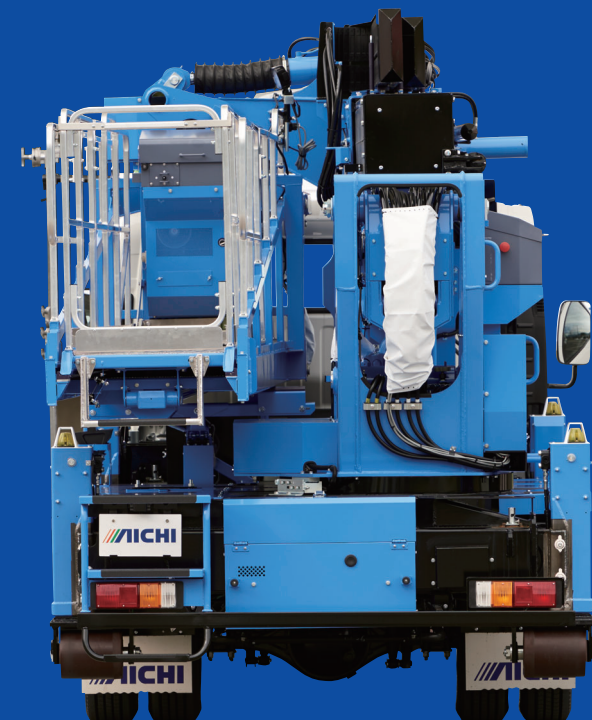


CHECK!

商品紹介ビデオ

カタログ内のQRコードを読み込むことで
紹介動画をご覧頂けます

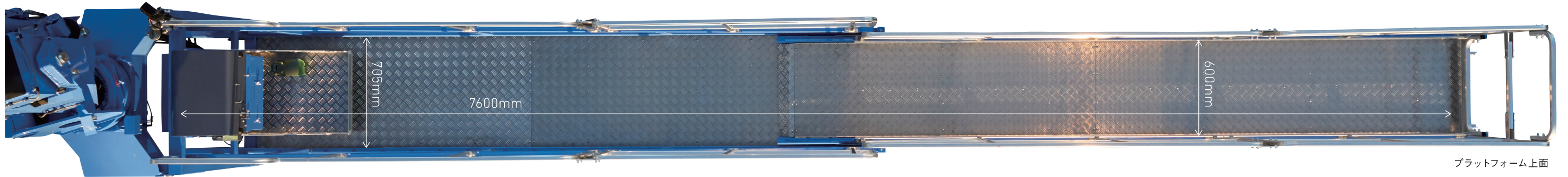




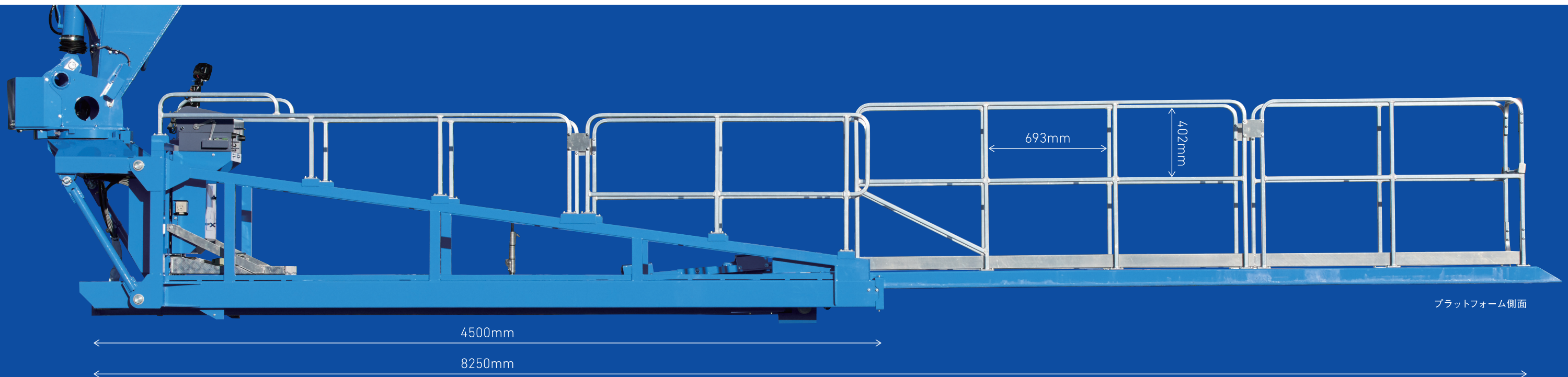


PLATFORM

PHOTO GALLERY



プラットフォーム上面



プラットフォーム側面

CHECK!

上部操作装置



上部操作装置



プラットフォーム裏面

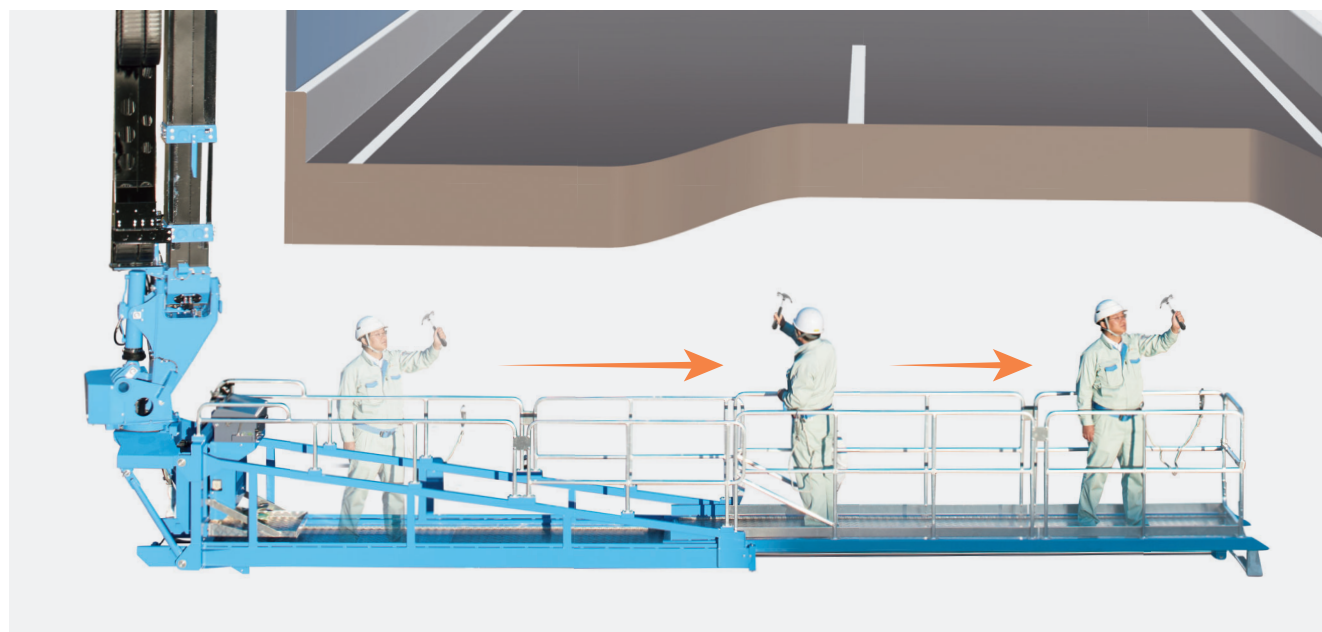
作業対象に歩いて近寄る！ 歩廊式プラットフォーム

CHECK! 

歩廊式
プラットフォーム



プラットフォームを歩いて対象物へ近寄ることができるため、複数個所の点検作業を歩きながら連続して実施可能です。
作業効率アップに貢献します。



※歩いて移動しながら点検が可能です

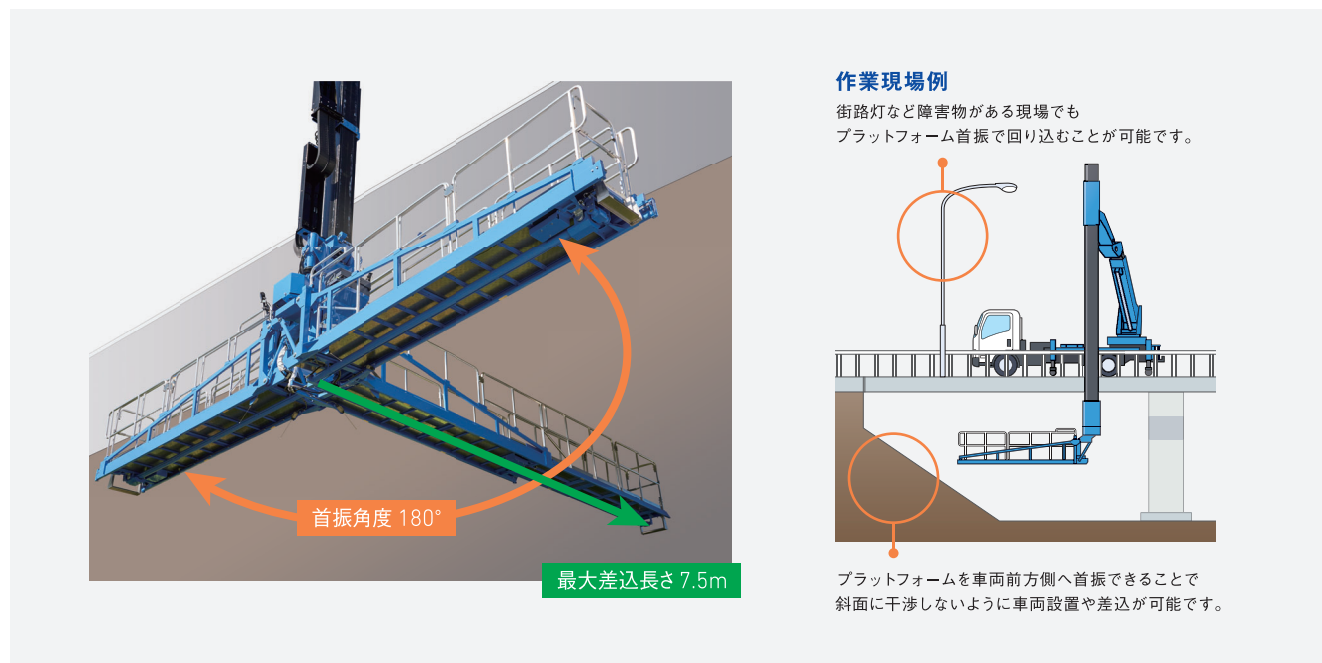
プラットフォーム首振が180°可能！

CHECK! 

プラットフォーム
首振 180°



プラットフォーム首振 180°と最大差込長さ 7.5m により約 66 m² の広大な作業領域を確保しました。
1 回の車両設置で近接目視点検を連続して効率よく実施可能です。



左右両側からのアプローチが可能

CHECK! 

左右両側からの
アプローチ



車両右側からもアプローチを可能とすることで、右側車線に車両設置する際の U ターンの手間を省きました。
高速道路や国道バイパスなどの一方通行路で危険を伴う逆方向駐車を回避することで安全性向上に貢献します。



右側車線に車両設置する場合も
U ターンが不要です

安全走行に貢献するコンパクトな車両サイズ

CHECK! 

コンパクトな
車両サイズ



車高が低いため、トンネルやアンダーパス通行時の設備との接触事故防止に貢献します。



SF77B1FR

※ 架装シャシーにより若干異なります



SF77A-IV

※ 架装シャシーにより若干異なります

アウトリガー最小張出が登場

CHECK! 

アウトリガー
最小張出



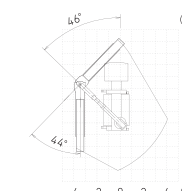
アウトリガー最小張出が設定されたことにより、作業に必要な車両占有幅が狭小化しました。
これまで作業が困難だった狭い現場でも使用可能です。



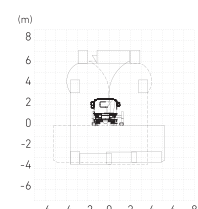
アウトリガー張出	位置	SF77A-IV	SF77B1FR	(従来) SF77A-III
最大	左側	3065	3190	3255
中間 2	左側	2865	3060	3070
中間 1	左側	2635	2860	2665
最小	左側	2405	2390	設定なし

車両占有幅 単位：mm

アウトリガー張出幅 最小 (左側 1.19~1.64)
(左側のみ作業可能)
※車体中心から 最大積載荷重 200kg



アウトリガー張出幅 最小
(左側 1.15~1.38 右側 1.56~1.77)
※車体中心から 最大積載荷重 200kg



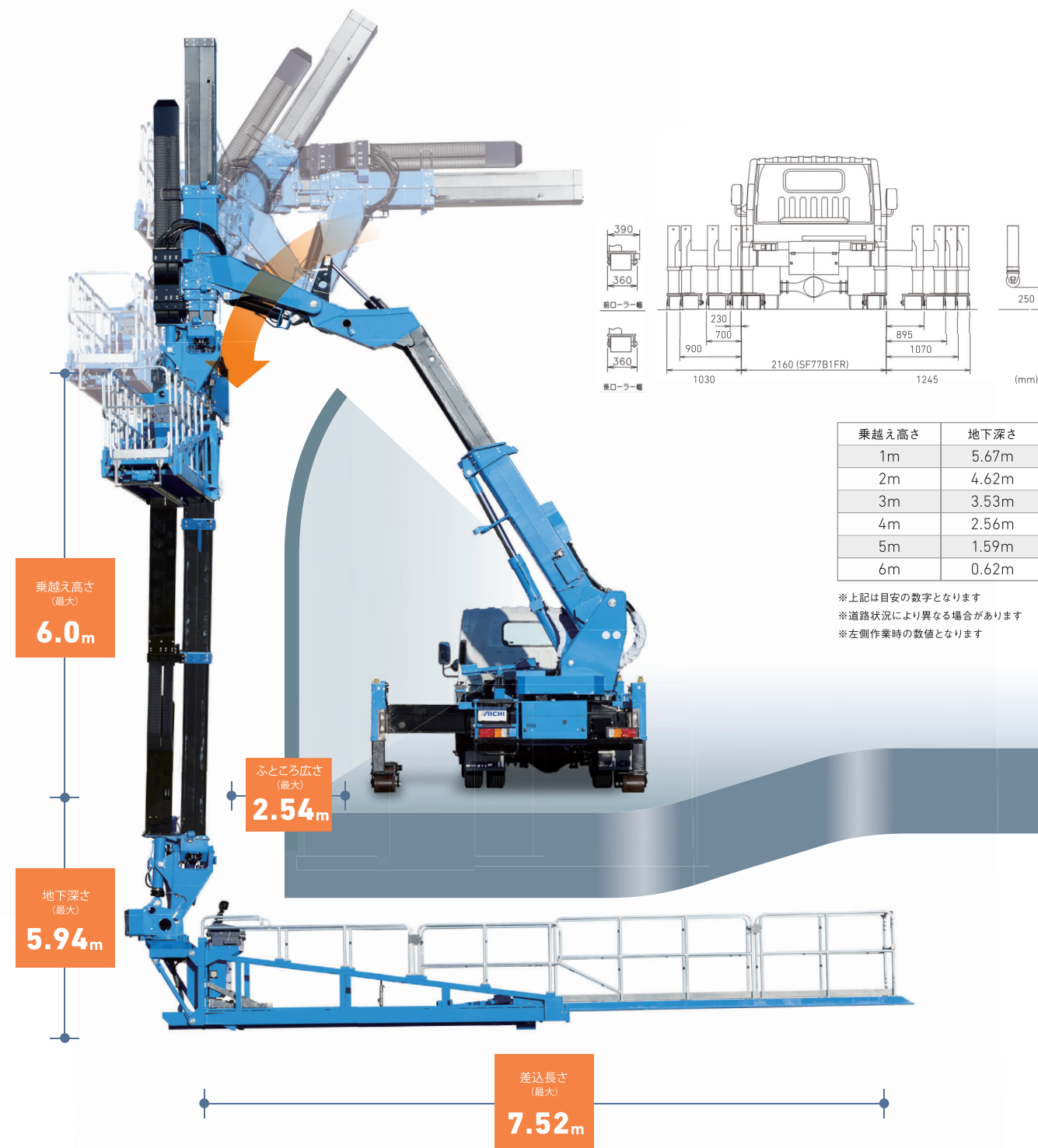
※ SF77B1FR の最小における旋回角度は 46 度に限定されます
※ 最小の作業範囲については以下になります
・ SF77A-IV は「両側可能」
・ SF77B1FR は「左側のみ」

SF77B1FR

限定中型免許(車両総重量8t未満)に対応
より多くの方にお使いいただけます

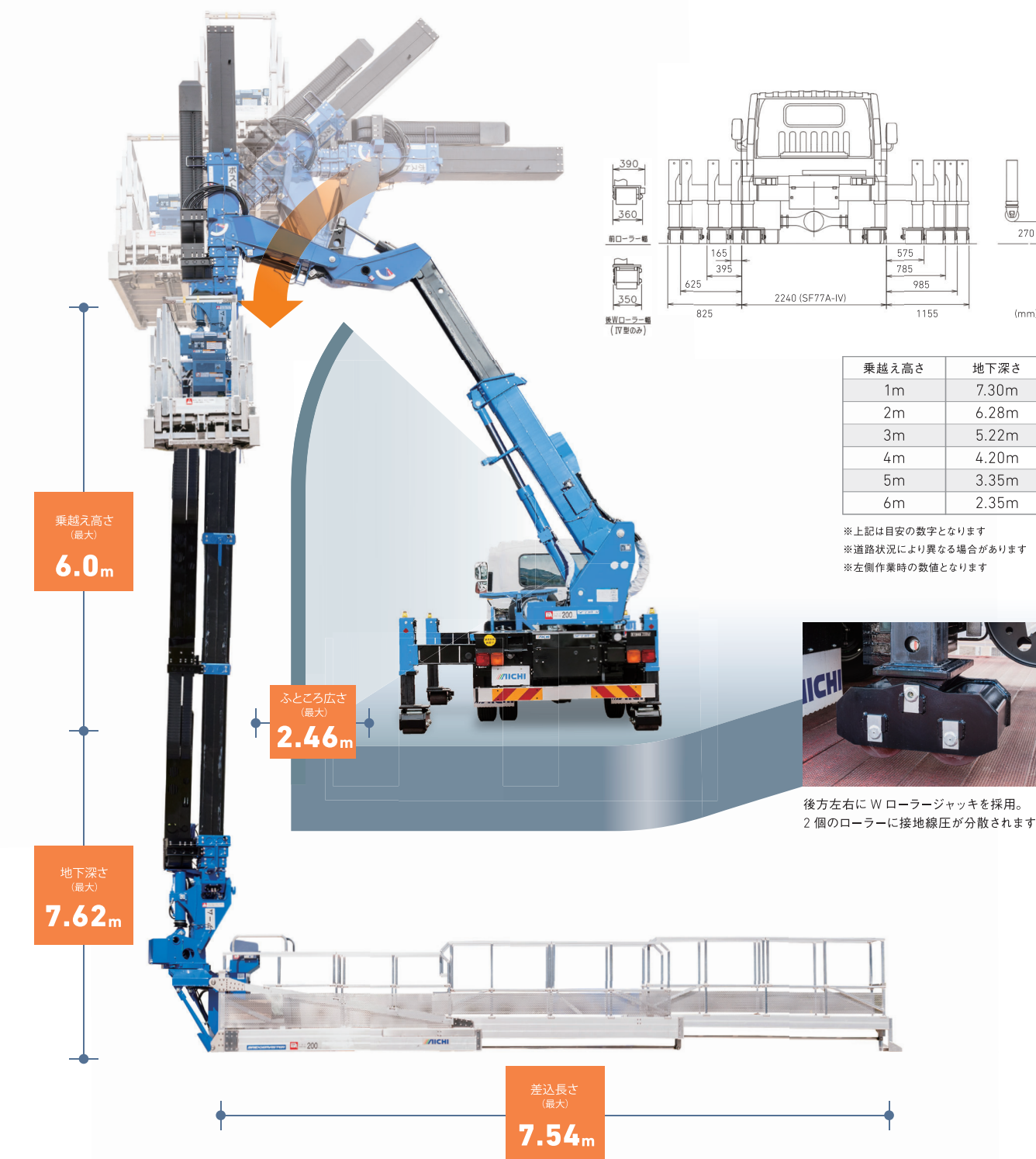
CHECK! 指

ラインナップ



SF77A-IV

中型免許(車両総重量11t未満)に対応
最大地下深さ7.6mを確保しました





≫ インターホン

キャビン内の運転手とプラットフォーム上の作業者との間で会話を行うことができ、走行開始時の合図や作業中の安全確認などに貢献します。



≫ 車体傾斜警報装置

車体の傾斜角度を検知し、定置作業やローラー走行の可否を表示。安全作業に貢献します。



≫ 作業用補助制動装置

一時停車の状態で作業する場合に、四輪全てにブレーキをかけたままの状態にすることができ、作業の安全性の確保に貢献します。

※架装シャシーにより表示方法が異なります



≫ プラットフォーム押し付け防止装置

プラットフォーム下面のセンサーが障害物を検知し、下方向にある障害物との接触防止をサポートします。

CHECK! 指

インターホン



CHECK! 指

車体傾斜警報装置



CHECK! 指

作業用
補助制動装置



CHECK! 指

プラットフォーム
押し付け防止装置



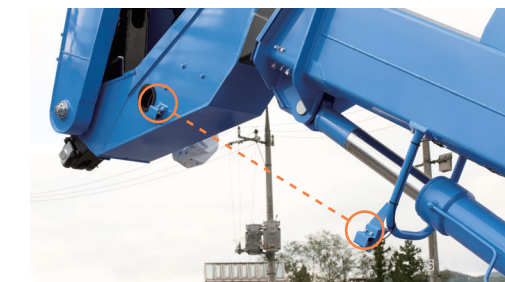
Platform

CHECK! 指

ブーム下面
接触防止装置



Boom



≫ ブーム下面接触防止装置

ブームとリンクの間にある障害物を赤外線センサーで検知し、ブーム下げ操作による遮音壁などの接触防止に貢献します。



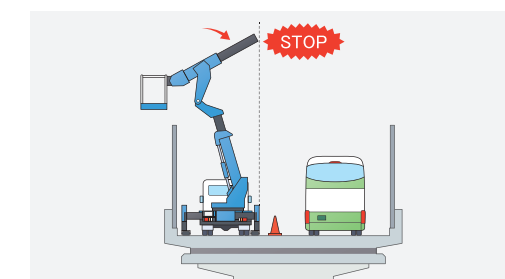
≫ 100V 電源取出口

下部のコンセントに発電機を接続することにより、プラットフォーム上で電動工具などを使用できます。



≫ 自動格納装置

ボスの起伏、アームの旋回、ブームの旋回、伸縮、起伏動作を自動でコントロールし、格納操作の手間を大幅に低減します。



≫ 車幅はみ出し防止装置

側方通行車両との接触・衝突を防ぐために、車両右側または左側へのブーム旋回とボスののはみ出しを規制します。

※SF77A-IVではオプション

CHECK! 指

自動格納装置



Control

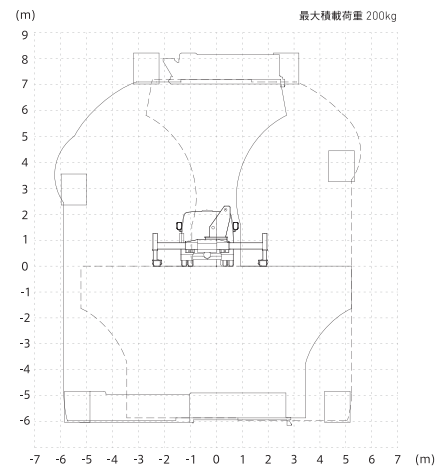
CHECK! 指

車幅はみ出し
防止装置

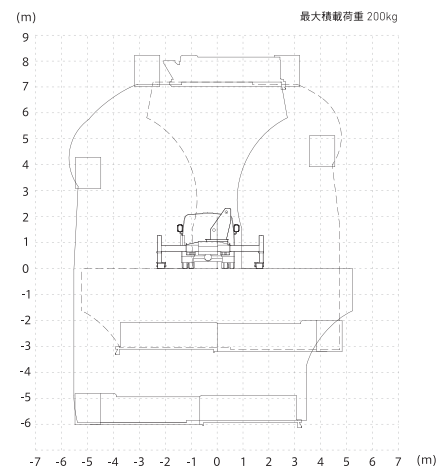


SF77B1FR

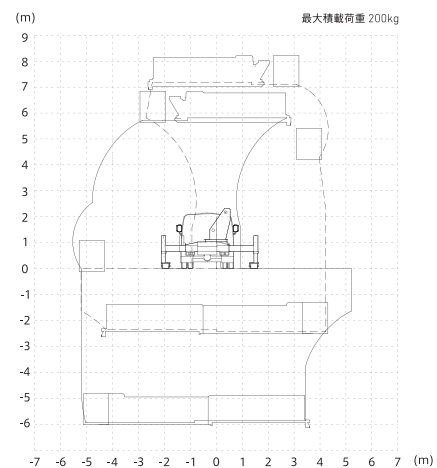
アウトリガー張出幅 最大 (左側 1.99~2.01 右側 2.20~2.23)
※車体中心から



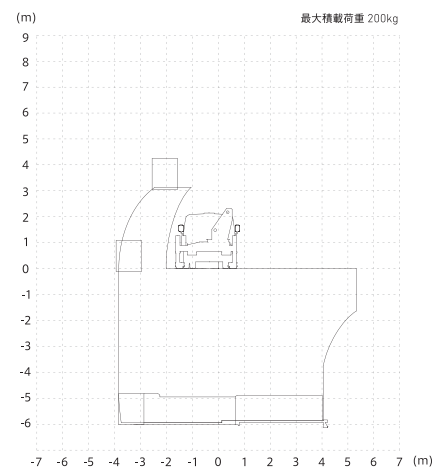
アウトリガー張出幅 中間2 (左側 1.86~1.99 右側 2.03~2.20)
※車体中心から



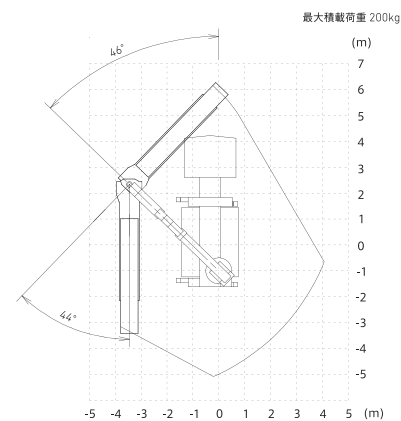
アウトリガー張出幅 中間1 (左側 1.66~1.86 右側 1.85~2.03)
※車体中心から



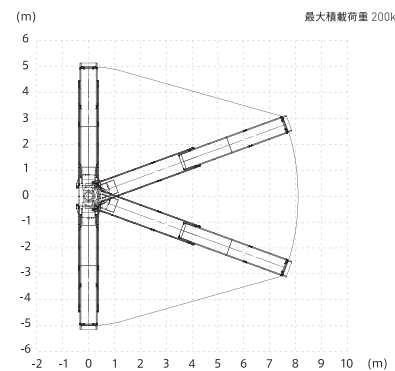
アウトリガー張出幅 最小 (左側 1.19~1.66)
(左側のみ作業可能) ※車体中心から



アウトリガー張出幅 最小 (左側 1.19~1.66)
(左側のみ作業可能) ※車体中心から

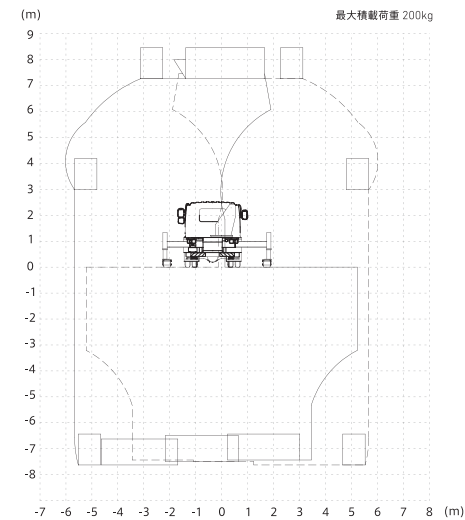


アウトリガー張出幅 格納 (左側 0.98~1.19 右側 0.98~1.85)
プラットフォーム作業範囲図 ※車体中心から

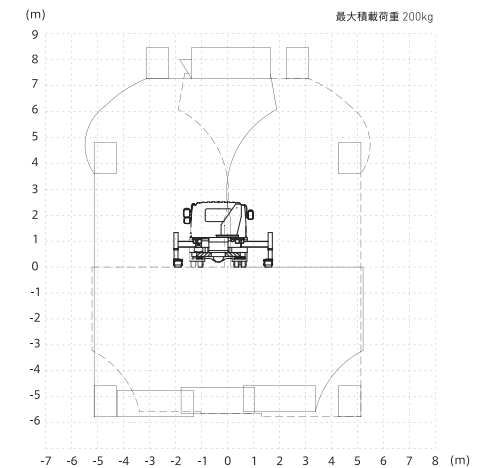


SF77A-IV

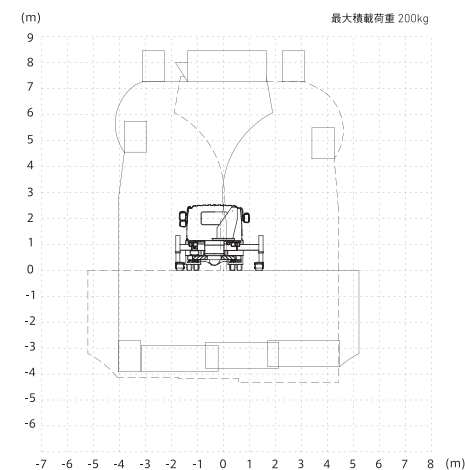
アウトリガー張出幅 最大 (左側 1.81~1.84 右側 2.14~2.17)
※車体中心から



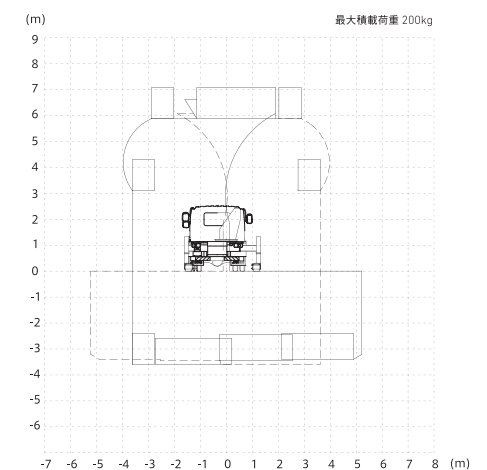
アウトリガー張出幅 中間2 (左側 1.61~1.81 右側 1.97~2.14)
※車体中心から



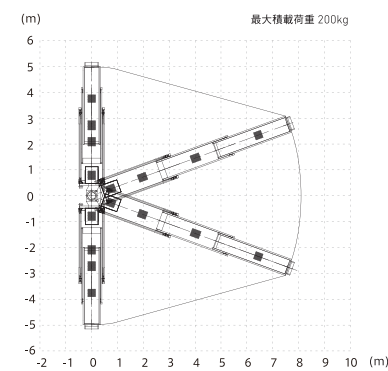
アウトリガー張出幅 中間1 (左側 1.38~1.61 右側 1.77~1.97)
※車体中心から



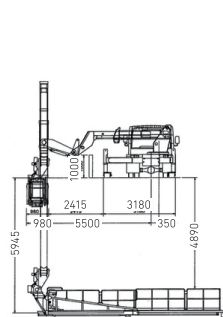
アウトリガー張出幅 最小 (左側 1.15~1.38 右側 1.56~1.77)
(左側のみ作業可能) ※車体中心から



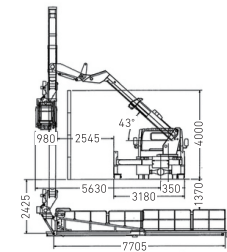
アウトリガー張出幅 格納 (左側 1.01~1.15 右側 1.01~1.56)
プラットフォーム作業範囲図 ※車体中心から



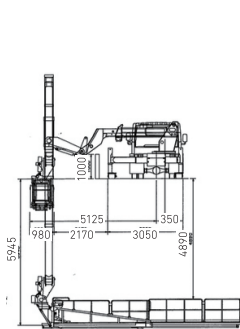
SF77B1FR



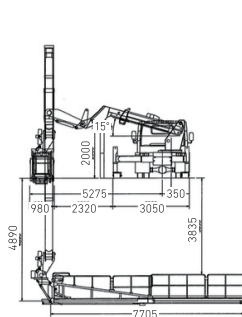
左側アウトリガー最大張出
最大地下深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 0.0度】



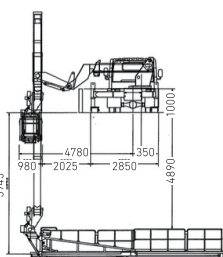
左側アウトリガー最大張出
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 4.3度）



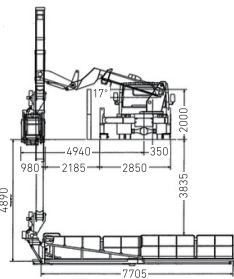
左側アウトリガー中間2張出
最大地下深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 0.0度）



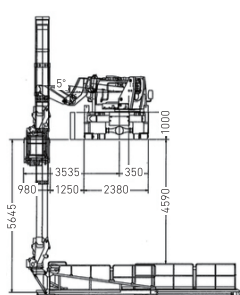
左側アウトリガー中間2張出
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 1.5度）



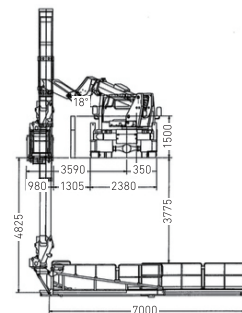
左側アウトリガー中間1張出
最大地下深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 0.0度】



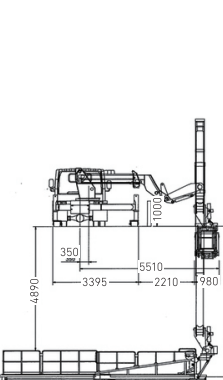
左側アウトリガー中間1張出
最大ふところ深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 1.7度】



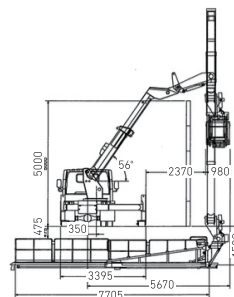
左側アウトリガー最小張出
最大地下深さの作業姿勢
（干渉規制解除）
【ブーム起伏角 5度】



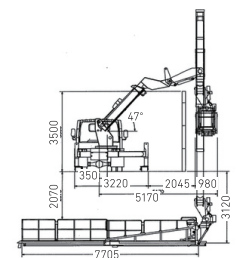
左側アウトリガー最小張出
最大ふところ深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 1.8度】



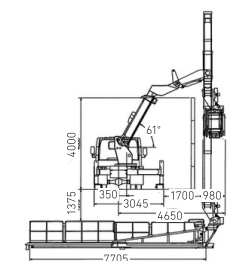
右側アウトリガー最大張出
最大地下深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 0.0度】



右側アウトリガー最大張出
最大ふところ深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 5.6度】

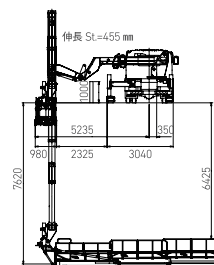


右側アウトリガー中間2張出
最大地下深さの作業姿勢
最大ふところ深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 4.7度】

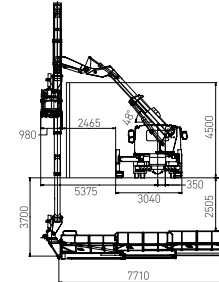


右側アウトリガー中間1張出
最大地下深さの作業姿勢
最大ふところ深さの作業姿勢
【ブーム起伏角 6.1度】

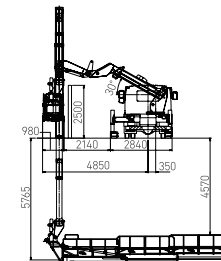
SF77A-IV



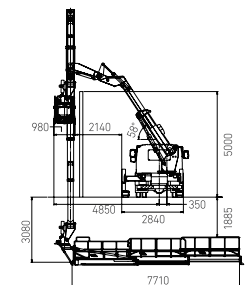
左側アウトリガー最大張出
最大地下深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 0.0度）



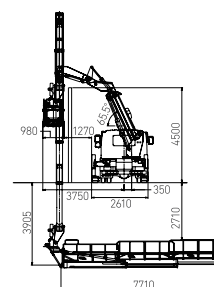
左側アウトリガー最大張出
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 4.8度）



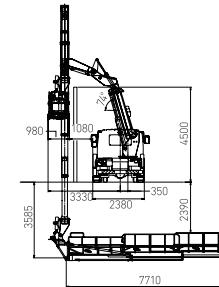
左側アウトリガー中間2張出
最大地下深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 3.0度）



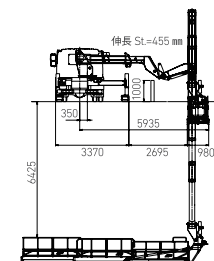
左側アウトリガー中間2張出
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 5.8度）



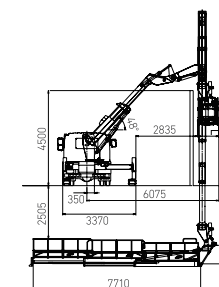
左側アウトリガー中間1張出
最大地下深さの作業姿勢
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 6.5度）



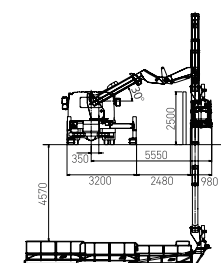
左側アウトリガー最小張出
最大地下深さの作業姿勢
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 7.4度）



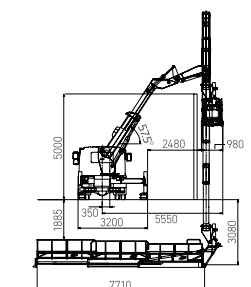
右側アウトリガー最大張出
最大地下深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 0.0度）



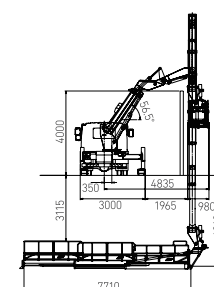
右側アウトリガー最大張出
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 4.8度）



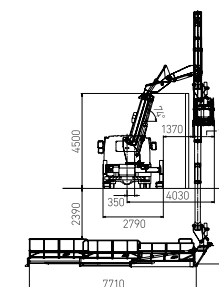
右側アウトリガー中間2張出
最大地下深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 3.0度）



右側アウトリガー中間2張出
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 5.75度）

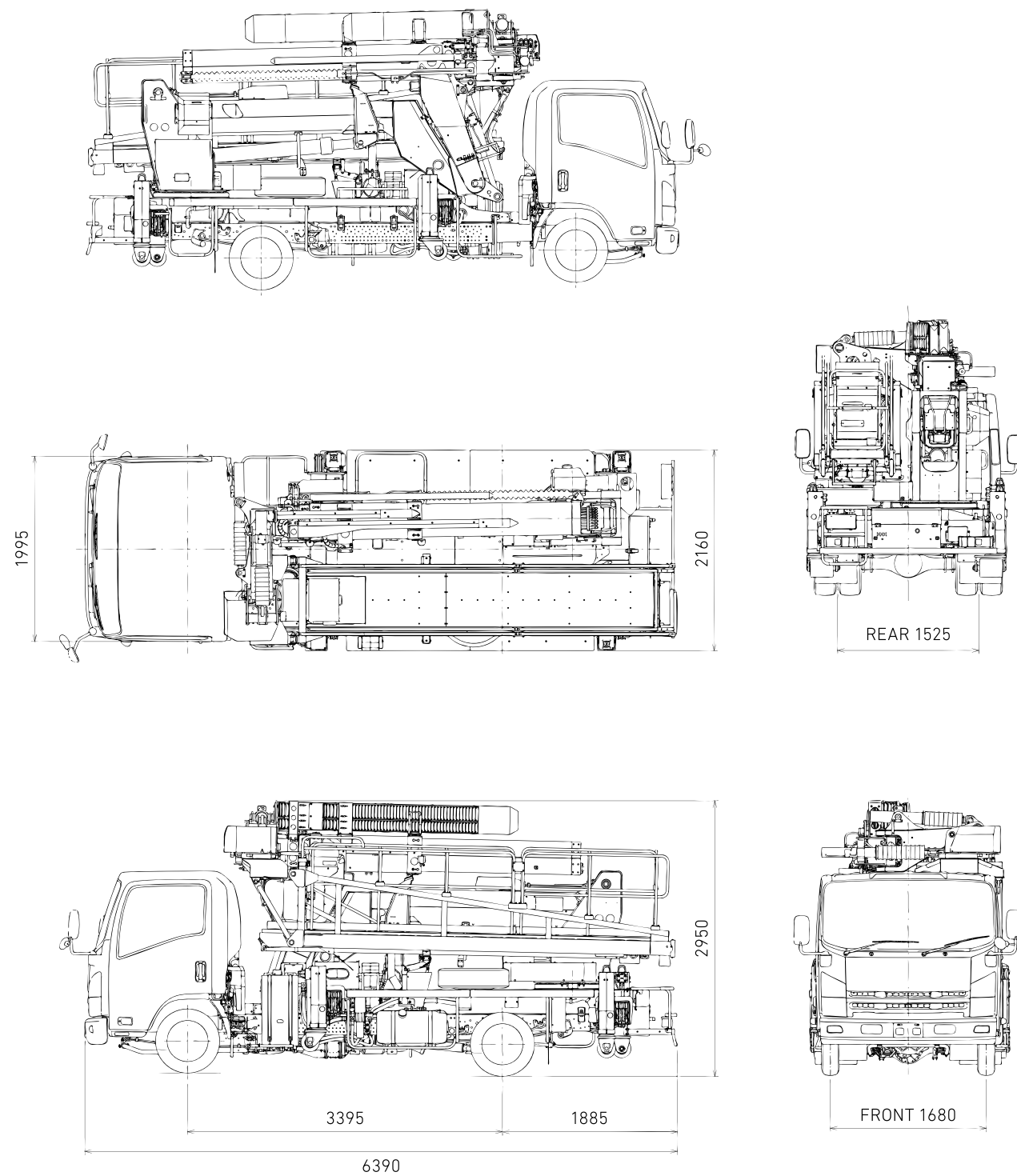


右側アウトリガー中間1張出
最大地下深さの作業姿勢
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 5.6度）



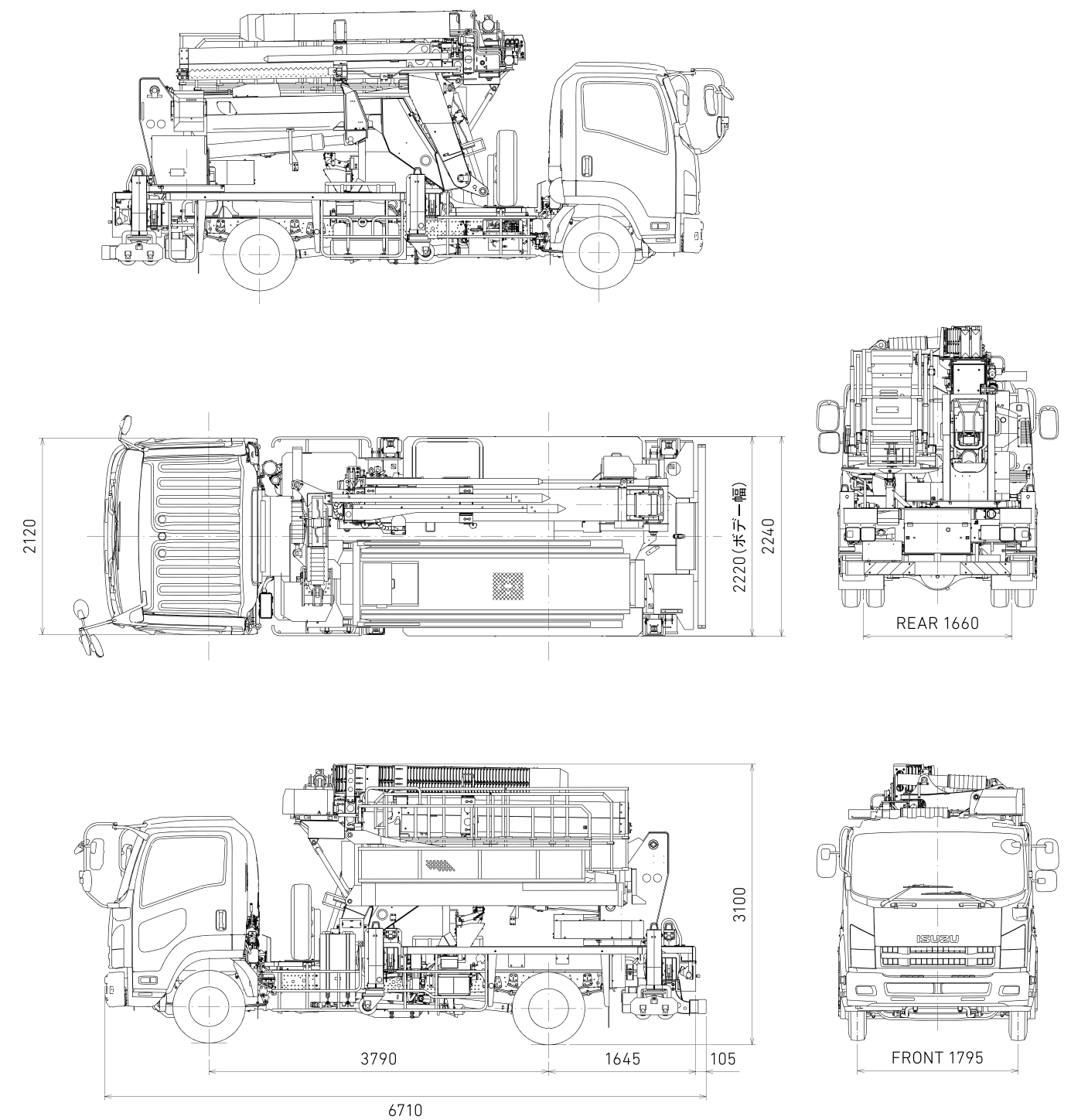
右側アウトリガー最小張出
最大地下深さの作業姿勢
最大ふところ深さの作業姿勢
（ブーム起伏角 7.4度）

SF77B1FR



※車両寸法図における単位はmmです
※車両寸法は架装シャシーにより異なります

SF77A-IV



※車両寸法図における単位はmmです
※車両寸法は架装シャシーにより異なります

型 式			SF77B1FR			SF77A-IV		
名 称			橋梁点検作業車					
プラットフォーム	積載荷重		200kg			200kg		
	外寸法 (長さ×幅×手すり高さ)	拡張時	7.61×0.65×0.96m			7.62×0.66×1.00m		
		縮小時	3.83×0.76×0.96m			3.02×0.92×1.00m		
	最大地上高		7.19m			7.44m		
	最大地下深さ		5.94m			7.62m		
	最大作業半径		5.88m (旋回中心から)			5.73m (旋回中心から)		
	最大差込長さ		7.52m			7.54m		
	首振角度		0°～180°			0°～180°		
アーム	旋回角度		0°～90°			0°～90°		
	アーム長さ		0.755m			0.755m		
ポスト	起伏角度		0°～90°			0°～90°		
	ポスト長さ		3.45～7.11m (+1.2mスライド付き)			3.45～8.94m (+1.2mスライド付き)		
	形式		4段油圧伸縮式			5段油圧伸縮式		
ポスト段数		3段+ポストスライド			4段+ポストスライド			
ブーム	起伏角度		0°～80°			0°～80°		
	旋回角度		左100°～右100°			左100°～右100°		
	長さ		3.4～4.8m			3.4～4.8m		
作動速度	ブーム起伏	上	0°～79°/35s			0°～80°/35s		
		下	0°～79°/35s			0°～80°/35s		
	ブーム伸縮	伸	1.4m/20s			1.4m/20s		
		縮	1.4m/20s			1.4m/20s		
	ブーム旋回		200°/65s			200°/65s		
	ポスト起伏	上	90°/40s			90°/40s		
		下	90°/40s			90°/40s		
	ポスト伸縮	伸	4.86m/62s			6.69m/75s		
		縮	4.86m/62s			6.69m/75s		
	プラットフォーム首振		180°/40s			180°/40s		
プラットフォーム拡張		3.78m/25s			4.6m/20s			
アーム旋回	格納	90°/20s			90°/20s			
	展開	90°/20s			90°/20s			
アリウガトI	張出	左側	0.980～2.010m (車両中心から)			1.010～1.840m (車両中心から)		
		右側	0.980～2.225m (車両中心から)			1.010～2.170m (車両中心から)		
	ジャッキストローク		0.345m			0.345m		
常用油圧		20.6Mpa [210kgf/cm ²]			20.6Mpa [210kgf/cm ²]			
油圧ポンプ		歯車式			歯車式			
車両諸元	架装シャシークラス		3.5トンクラス			6トンクラス		
	全長		6.39m			6.71m		
	全高		2.95m			3.10m		
	全幅		2.16m			2.24m		
車両総重量		7,950kg			10,830kg			
作業範囲比較	アウトリガー張幅	位 置	車両占有幅	最大作業半径	ふところ広さ	車両占有幅	最大作業半径	ふところ広さ
	最大	左 側	3.190m	5.880m	2.545m	3.065m	5.725m	2.465m
	中間2	左 側	3.060m	5.520m	2.320m	2.865m	5.200m	2.140m
	中間1	左 側	2.860m	5.185m	2.185m	2.635m	4.100m	1.270m
	最小	左 側	2.390m	3.840m	1.305m	2.405m	3.680m	1.080m
	最大	右 側	3.405m	5.215m	2.370m	3.395m	5.725m	2.835m
	中間2	右 側	3.230m	4.715m	2.045m	3.225m	5.200m	2.480m
	中間1	右 側	3.055m	4.200m	1.700m	3.025m	4.485m	1.965m
最小	右 側	設定なし			2.815m	3.680m	1.370m	
※架装シャシー・仕様により異なる場合があります								
※ジャッキ張幅とは「左ジャッキの中心～右ジャッキの中心」を指します								

安全に関する
ご注意

●高所作業車の操作には以下の資格が必要です。
・作業床の最大高さが2m以上10m未満のものは、高所作業車運転のための「特別教育修了者」または「技能講習修了者」
・作業床の最大高さが10m以上のものは、高所作業車運転のための「技能講習修了者」

●高所作業車の操作には「労働安全衛生法」「労働安全衛生規則」にもとづく適切な装備・器具の着用が必要です。

●強風（10分間の平均風速10m/s以上）、大雨（1回の降雨量50mm以上）大雪（1回の降雪量250mm以上）等、悪天候下での、2m以上の高所作業は法令により禁止されています。

●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

※本仕様、装備名称および外観や構造の一部を予告なく変更することがあります

※車両および装備の色は撮影、印刷インキの関係で実際の商品と異なって見えることがあります

※本カタログ内の数値は参考値となります

※掲載されているオプションについては、一部のグレードには装着できない場合があります

わたくしたちは、新しい変化を創造することで 社会の発展につくします

SF77B1FR/SF77A-IV 導入のご相談を承ります

お問い合わせ先・営業拠点

本社	TEL.048-781-1111	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の10
広域レンタル・鉄道営業部	TEL.048-852-1421	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4
北日本支店	TEL.022-236-0421	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 3-4-8
北日本支店 北海道	TEL.011-665-1301	〒063-0834 北海道札幌市西区発寒 14 条 4 丁目 2-70
関東支店	TEL.048-852-1104	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4
中部支店	TEL.052-621-5112	〒459-8001 愛知県名古屋市長久保大高町丸の内 70-1
中部支店 北陸	TEL.076-434-2181	〒930-0177 富山県富山市西二俣 354
関西支店	TEL.06-6307-4567	〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3-9-56
中四国支店	TEL.082-429-2011	〒739-0151 広島県東広島市八本松町大字原 10852-57
中四国支店 四国	TEL.087-874-0808	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分 59-7
九州支店	TEL.092-935-5353	〒811-2207 福岡県粕屋郡志免町南里 2-26-1
九州支店 サテライト沖縄	TEL.098-867-7337	〒900-0014 沖縄県那覇市松尾 2 丁目 17-29 タウンコート玉商 B 棟 6-G

SF77B1FR/SF77A-IV をより効果的に運用していただくために

機械の運用、安全のためにご活用ください

アイチ研修センターは、メーカーの教習機関として「経験豊富なスタッフ」「充実した設備」「最新の機材」により、お客さまのご要望にお応えします。現場に即した実践的な実技指導を特徴とし、資格取得だけでなく、危険再認識教育や技能向上教育など幅広いお役立ちを目指しております。

アイチ研修センター

労働局長登録教習機関

TEL.048-725-4441 FAX.048-725-4466

<https://www.aichi-kensyu.co.jp>



SF77B1FR/SF77A-IV を安心・安定して運用していただくために

点検と最適なメンテナンスのご提供

「いつもベストなコンディションで使える」「故障による機械停止などの低減」のために、機械の定期点検をお勧めします。
定期点検は、専門教育を受けている全国200箇所以上のアイチコーポレーションのサービスネットワークへお任せください。

※詳しくは最寄りのアイチコーポレーションカスタマーサービスセンターにお問い合わせください
※最新の全国ネットワークサービスについては弊社ホームページで確認できます

北日本支店	東北中央カスタマーサービスセンター	TEL.022-236-0421
	北海道中央カスタマーサービスセンター	TEL.011-665-1301
	新潟カスタマーサービスセンター	TEL.025-259-6661
関東支店	関東中央カスタマーサービスセンター	TEL.048-852-1101
	上尾カスタマーサービスセンター	TEL.048-781-1503
	神奈川カスタマーサービスセンター	TEL.045-921-3905
中部支店	名古屋中央カスタマーサービスセンター	TEL.052-621-2290
	北陸中央カスタマーサービスセンター	TEL.076-434-2181
	三重サービスステーション	TEL.059-264-7873
関西支店	大阪中央カスタマーサービスセンター	TEL.06-6307-4555
	神戸サービスステーション	TEL.078-974-1231
中四国支店	広島中央カスタマーサービスセンター	TEL.082-429-2011
	高松サービスステーション	TEL.087-874-0808
	今治サービスステーション	TEL.0898-32-0860
九州支店	九州中央カスタマーサービスセンター	TEL.092-935-5353